

天草市スポーツコミッション活動戦略

2022年1月

天草市

〔目 次〕

第1章 活動戦略の策定にあたって	1 ~ 3
1. 戦略策定の目的	
2. 戦略の位置づけ	
3. 天草市スポーツ推進計画（第2次）の基本理念と基本方針	
第2章 天草市のスポーツを取り巻く現状	4 ~ 12
1. 現状と特性	
2. スポーツ分野の動向について	
2-1 市民のスポーツに関する意向	
2-2 子どもの体力の状況	
2-3 スポーツ施設の状況	
2-4 スポーツイベントの状況	
2-5 スポーツ関連団体の概要と競技スポーツの現状	
2-6 本市におけるスポーツ大会・合宿誘致事業の状況	
第3章 スポーツコミッションの取り組みを推進する上での課題	13 ~ 15
1. 本市のスポーツ分野に関する分析	
2. スポーツコミッションの取り組みを推進するにあたっての課題	
第4章 スポーツコミッション活動戦略	16 ~ 26
1. スポーツコミッション活動戦略の基本的な考え方と活動方針	
2. スポーツコミッションの活動戦略	
《スポーツコミッション活動戦略の体系》	
《スポーツコミッションの数値目標》	
戦略1 市民の健康づくり・子どもの体力増進に対するサポート	
戦略2 科学的視点からのアプローチ&サポートと人間力の向上	
戦略3 天草市の強みを活かしたスポーツ大会・合宿の誘致	
戦略4 来訪者を受け入れる体制の整備・充実	
戦略5 市民とアスリートの交流促進	
戦略6 スポーツによる地域内消費の促進	
戦略7 情報発信と天草ブランドの向上	
《スポーツコミッション活動戦略のロードマップ》	
第5章 スポーツコミッションの具体的運営	27 ~ 29
1. スポーツコミッションの組織及び推進体制	
2. スポーツコミッションの活動のイメージ	
3. スポーツコミッション活動の評価と見直し	

第1章 活動戦略の策定にあたって

1. 戦略策定の目的

スポーツの推進は、本市にとって重要な政策の一つです。

スポーツに親しみ楽しむことは、人間本来の身体を動かすという欲求に応え、爽快感や達成感を満たすことのほか、心身の健康増進や生きがいに満ちたライフスタイルを保ち、人と人との交流を通して絆を深め、地域づくりなど幅広く様々な分野に効果をもたらします。

また、スポーツは競技性が高まるにつれて、人間の可能性の限界に挑戦し追及するという側面を持っており、スポーツに打ち込むその姿は、見る人にも夢や感動を与えるなど、豊かな活力ある社会の形成に大きく貢献します。

このように様々な効果を持つスポーツは、時代の流れとともに市民のスポーツに対する意識が変化する中で、その関わり方も「する」だけでなく、「見る」「支える」など多様化してきており、その重要性がますます大きくなっています。

そこで、市民が明るく豊かな生活を営み、「日本一の健康寿命都市」を実現するためにも、それぞれのライフスタイルに合わせてスポーツに関わり、生涯に渡って親しむことが必要になってきます。

本市では、平成27年に本市がおかれている現状や課題を踏まえつつ、特性を生かしながらスポーツや運動を推進していくために、「天草市スポーツ推進計画（第2次）」（平成31年改訂）を策定し、これまで関係団体と連携して基本方針に沿って取り組みを実施してきました。

また、平成29年には多様化するスポーツニーズや市内競技団体からの要望等に応えるため、「天草市スポーツ拠点施設整備基本計画」（令和3年改訂）を策定し、それを先駆ける施設として、令和5年に400m陸上競技場等を大矢崎緑地公園に整備します。

さらに、その施設を多くの市民や市外から訪れる競技者等が最大限に活用して、スポーツ振興による市民の健康増進や地域経済の活性化につなげるために、「天草市スポーツコミッション」を令和4年に設立します。

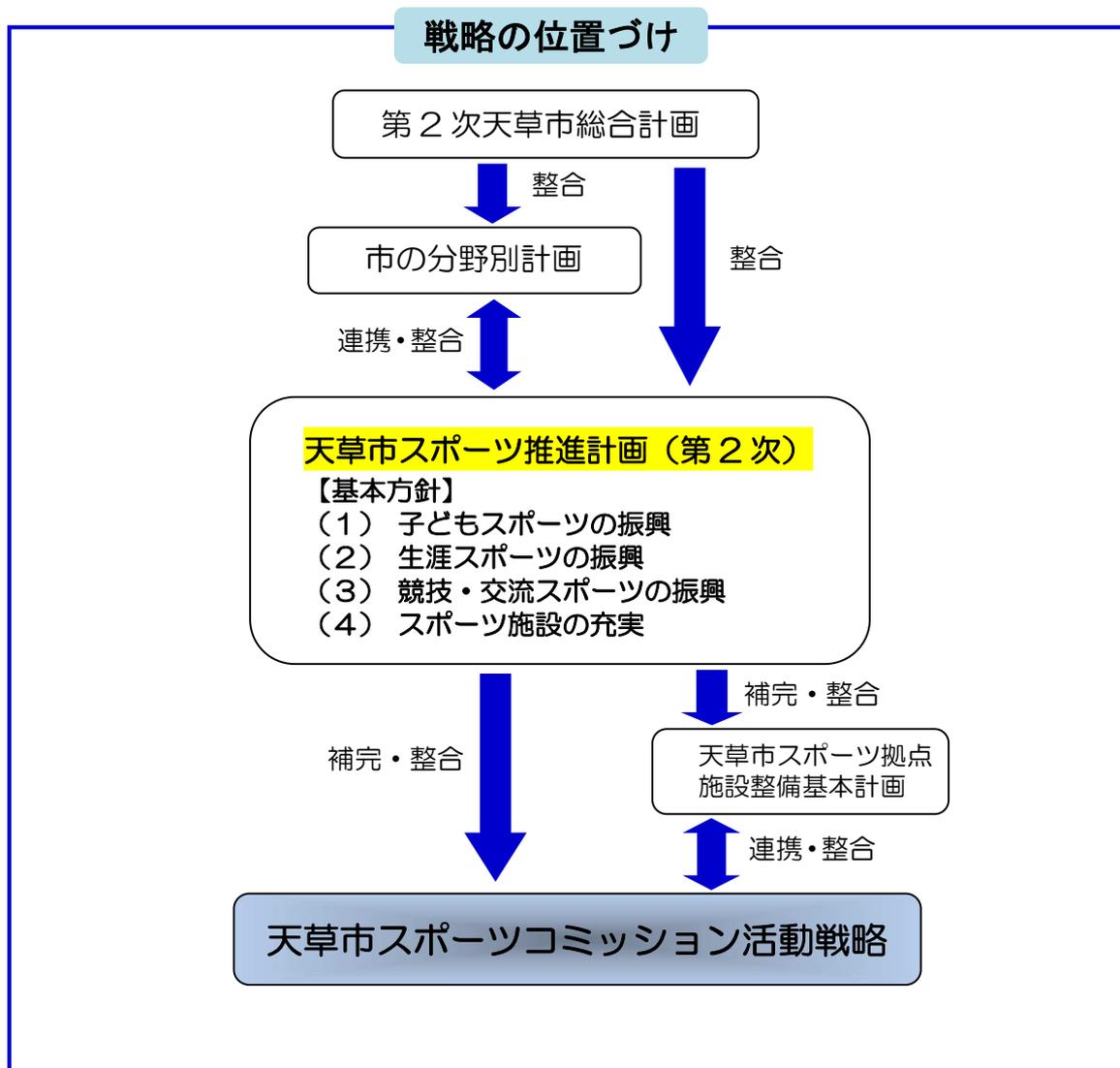
「天草市スポーツコミッション」では、各スポーツ団体や競技者はもとより、スポーツや運動をする人もしない人も含めて、全ての市民が能動的にスポーツや運動に関わり、スポーツ文化の醸成と地域活性化に繋がるための活動を行っていきます。

そこで、本市のスポーツ政策分野の根幹である、「天草市スポーツ推進計画（第2次）」における各分野の取り組みを、「天草市スポーツコミッション」が主体となり、スピード感を持って実現するために「天草市スポーツコミッション活動戦略」を策定しました。

2. 戦略の位置づけ

- ・本市の基本方針である「第2次天草市総合計画」に基づき策定された「天草市スポーツ推進計画（第2次）」（P3に基本理念、基本方針を掲載）を補完するとともに、市の関連する施策分野ごとの各計画と連携・整合性を図るものとします。
- ・大矢崎緑地公園に整備予定の「400m陸上競技場等」を含むスポーツ拠点施設等を活用して、全ての市民がライフスタイルに応じて、スポーツや運動に親しみ、健康増進や競技力の向上が図られる環境を整えることや、スポーツ大会・合宿の誘致を推進し、新たな交流機会の創出により地域振興につなげるために設立する「天草市スポーツコミッション」の取り組みの指針とするものです。

【本戦略の位置づけ】



3. 天草市スポーツ推進計画（第2次）の基本理念と基本方針

平成27年3月に策定された「天草市スポーツ推進計画（第2次）」（平成31年3月改定）は、子どもから高齢者まで、初心者からトップアスリートまで、障がいのある人もない人も、全ての市民がスポーツを“する人”“観る人”“支える人”のいずれかの関わりを持ち、スポーツを通じて市民生活の充実と明るく活力のある日本一の健康寿命都市を目指すことを基本理念としています。

併せて、本計画を効果的に推進するため、基本方針を以下の4項目に分類し、これを具現化するために天草市スポーツコミッションが本活動戦略に則って、様々な取り組みを実施します。

〔天草市スポーツ推進計画（第2次）の基本理念及び基本方針〕

平成27年 策定
平成31年 改訂

○基本理念

＜スポーツは文化！！＞

～スポーツで創ろう！いきいき日本の宝島“天草”～

○基本方針

（1）子どもスポーツの振興

幼児期からスポーツや運動に親しむ機会を設け、生涯にわたって体を動かし、健康な人生を送るための基礎を作ります。

また、運動部活動から社会体育へ移行後の小学生のスポーツ環境の整備や内容の充実を図ると同時に、学校教育における体育授業の充実を図り魅力あるスポーツ環境の整備を目指します。

（2）生涯スポーツの振興

市民が心身ともに健康で豊かな生活を送るために、それぞれのライフスタイルに応じてスポーツや運動に取り組める環境を目指します。

また、高齢者や障がい者、スポーツ未実施者がスポーツに目を向けやすくなる環境を整備して、スポーツ実施率の向上を目指します。

（3）競技・交流スポーツの振興

市スポーツ協会及び種目協会と連携して、優れた指導者と競技者を育成し、競技力向上を目指します。

また、多様なスポーツの大会やスポーツ教室の開催を支援するとともに、スポーツ交流やボランティアの啓発を行い、スポーツに対する市民の関心度を向上させます。このほか市外からのスポーツ大会等を積極的に誘致して、地域振興につなげていきます。

（4）スポーツ施設の充実

すべての市民に配慮して、誰もが気軽に安心して利用できる施設の整備、利用環境の向上とスポーツ情報の提供に努めます。

老朽化したスポーツ施設については、利用者の安全性を最優先に維持・補修を行うとともに、利用状況や維持管理費を考慮して施設の統廃合等を計画的に行っていきます。

第2章 天草市のスポーツを取り巻く現状

1. 現状と特性

本市は、県庁所在地の熊本市から天草市役所本庁舎のある本渡までは車で約2時間、最南端の牛深まではさらに1時間ほどを要します。

また、空の玄関口として福岡空港や熊本空港及び大阪・伊丹空港を結ぶ「天草空港」、海の玄関口として長崎県南島原市を結ぶ「鬼池港」、鹿児島県長島町を結ぶ「牛深港」や「中田港」が整備されているものの、都市圏や九州各県の県庁所在地からも地理的に遠く、県外などから本市を訪れるためにはかなりの時間を要する地域に位置しています。

このような環境のもと、市内のスポーツ振興の面については、天草市スポーツ協会（以下「市スポーツ協会」という）に加盟する各種目協会（25団体：令和3年7月現在）が中心となって、ジュニア選手や指導者の育成など競技力向上に向けて取り組んでいるほか、各種スポーツ大会の開催や誘致等も積極的に行っており、本市のスポーツ振興における大きな原動力となっています。

また、市内では、天草マラソン大会や天草宝島国際トライアスロン大会などのスポーツイベントが開催されているほか、豊かな自然と温暖な気候は、アウトドアスポーツやマリンスポーツ、サイクリング等に適していることから、この環境を活用したイベントなどの開催に大きな可能性が秘められています。

2. スポーツ分野の動向について

2-1 市民のスポーツに関する意向

令和2年に実施した「市政に関するアンケート」（令和2年11月）及び「天草市スポーツ推進計画（第2次）」の改訂版（平成31年3月策定）の策定時に実施した天草市民のスポーツに関するアンケート調査（平成30年5月）の結果からスポーツに関する状況について記載します。

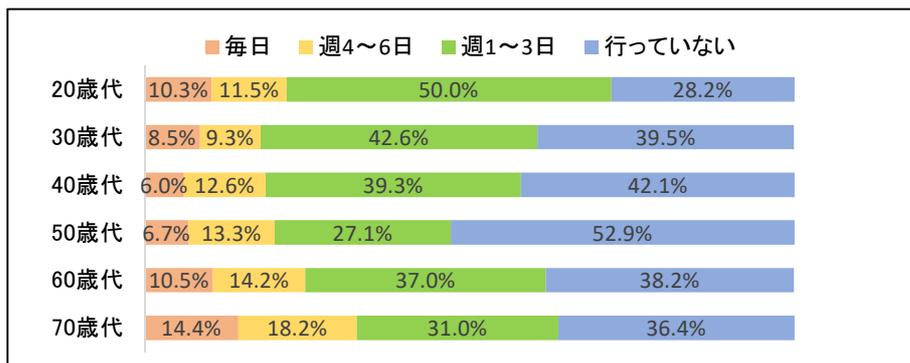
令和2年の市政に関するアンケートにおいて、「スポーツを週1回30分以上行う市民（成人）の割合（表1）」は59.5%であり、国のスポーツ実施率の結果59.9%とほぼ同じ割合の結果でした。このうち「年齢別にスポーツ実施率（図1）」をみると20代が71.8%と最も高く、続いて70代が63.7%、60代が61.7%、30代が60.4%となっています。また40代は57.9%、50代は47.1%と働く世代の実施率が低い状況です。

スポーツ実施率については、近年、着実に上昇しており、市民のスポーツや運動に対する意識が高まってきていることが伺えます。

表1 ◆スポーツを週1回30分以上行う天草市民（成人）の割合と国の比較（単位：％）

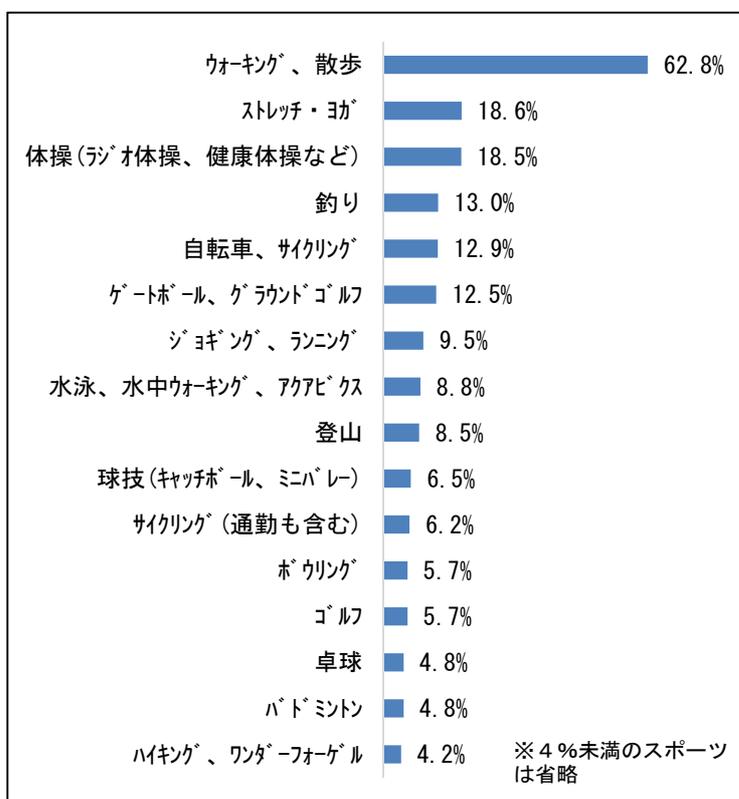
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
スポーツを週1回以上行う割合（天草市）	47.4	48.4	59.5
スポーツを週1回以上行う割合（国）	55.1	53.6	59.9

図1 ◆年齢別スポーツ実施率（天草市）



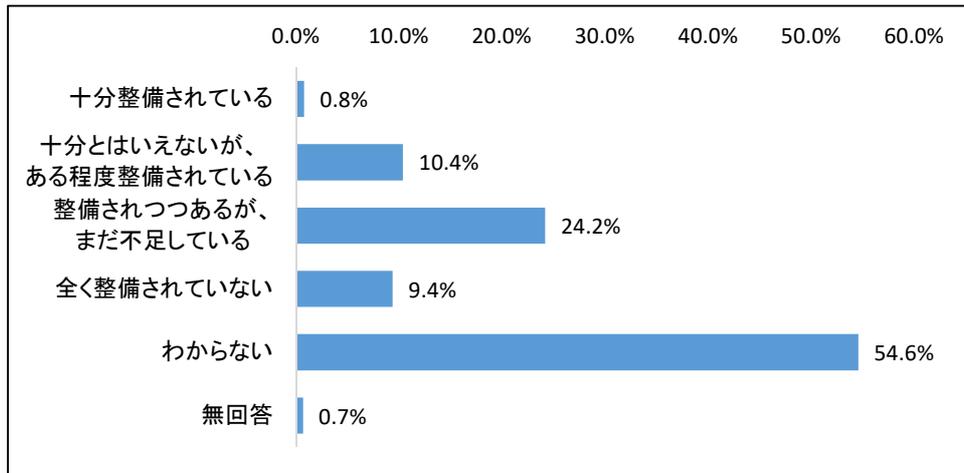
また、平成30年に実施した市民のスポーツに関するアンケート調査（スポーツ振興課独自調査）において、「今後、行ってみたい運動やスポーツ（図2）」については、「ウォーキング・散歩」が62.8%と高く、続いて「ストレッチ・ヨガ」18.6%、「体操（ラジオ体操・健康体操など）」18.5%となっており、個人の都合に合わせて気軽にできる運動が望まれる傾向にあることが伺えます。

図2 ◆今後、行ってみたいスポーツ



また、令和2年に実施した市政アンケートにおける「障がい者がスポーツを実施する環境の整備状況（図3）」については、「十分整備されている」「十分とは言えないが、ある程度整備されている」をあわせると11.2%で、「まったく整備されていない」「整備されつつあるが、まだ不足している」の合計33.6%にはるかに及んでいません。このように障がい者がスポーツをできる環境（ハード面、ソフト面）の改善が求められています。

図3 ◆障がい者がスポーツを実施する環境の整備状況



このほか、これまでスポーツイベントは、多くの市民ボランティアに支えられて行われてきました。今後もスポーツを「支える」視点から関わる人を増やし、豊かな人間性の醸成を図っていく必要があります。

平成30年5月に実施した天草市民のスポーツに関するアンケート調査では、「スポーツボランティアを行った成人(図4)」は8.6%で、平成29年度の全国値10.6%より2%下回っています。

しかし、「今後のスポーツボランティアへの参加意向(図5)」は、「ぜひ行いたい」と「できれば行いたい」をあわせると25.5%、「わからない」が41.1%とスポーツボランティアへの参加を促す取り組みによっては、今後、大きく上昇させることが期待できる結果となっています。

図4 ◆スポーツボランティアを行った成人の割合

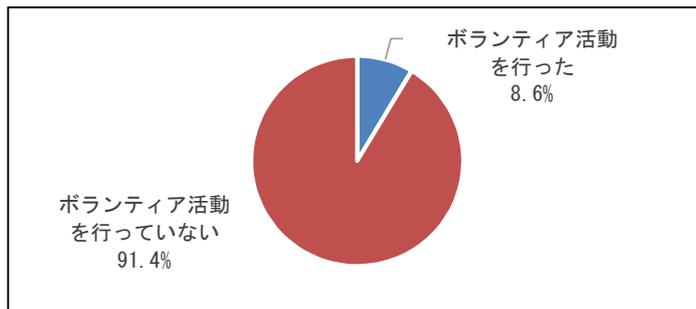
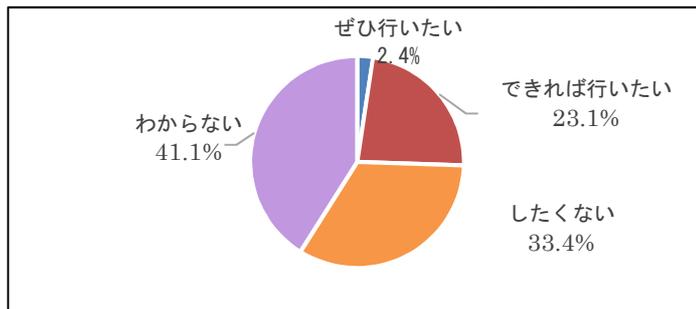


図5 ◆スポーツボランティアへの参加意向



2-2 子どもの体力の状況

全国で統一して行われている「体力・運動能力調査」結果から、本市における小学1年生の平均値と熊本県の平均値を比較すると、8項目のうち男女ともに県の平均値を上回る項目数は、平成29年度は3項目、平成30年度は2項目、令和元年度は1項目と年々減少しています。

子どもの体力低下の原因としては、習い事の増加や室内遊びの日常化によるもののほか、外遊びが減少したこと等が考えられますが、生涯の基礎を築く子どものうちに、思うように体を動かすスポーツや運動にいかに関わることができるのか、将来のスポーツ実施率に大きく影響すると考えられるため、本数値を上昇させることは重要なポイントになります。

表2 ◆市内の小学校1年生における年度毎の新体力調査集計結果表

年度	項目		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフトボール投げ (m)
平成29年度	男子	市平均	8.90	10.83	29.88	27.66	17.11	11.88	111.93	8.93
		県平均	9.20	10.93	27.27	26.70	17.96	11.77	111.20	8.26
	女子	市平均	8.27	10.24	32.52	26.21	14.54	12.31	102.73	5.57
		県平均	8.55	10.44	29.23	25.75	15.58	12.08	103.95	5.40
	男女ともに天草市が上回っている項目		—	—	●	●	—	—	—	●
平成30年度	男子	市平均	8.78	11.12	28.28	27.85	20.70	11.74	110.03	8.83
		県平均	9.37	11.11	27.45	27.91	19.72	11.62	113.20	8.43
	女子	市平均	8.15	10.57	31.68	26.97	16.76	12.10	103.41	6.01
		県平均	8.73	10.65	29.21	26.77	16.82	11.98	104.63	5.60
	男女ともに天草市が上回っている項目		—	—	●	—	—	—	—	●
令和元年度	男子	市平均	8.95	10.44	26.94	26.85	19.69	11.64	112.89	8.51
		県平均	9.27	11.22	27.45	27.53	19.96	11.61	113.49	8.44
	女子	市平均	8.57	9.59	29.05	25.15	16.66	11.86	106.17	5.78
		県平均	8.71	11.01	29.21	26.49	16.91	11.89	105.85	5.69
	男女ともに天草市が上回っている項目		—	—	—	—	—	—	—	●

※令和2年度については、統一して実施されていないため判定不可。

※赤字は、本市が県平均値を上回っている値。

2-3 スポーツ施設の状況

本市には、野球場、ソフトボール場、陸上競技場、テニスコート等、各競技に特化した屋外スポーツ施設のほか、バレーボールやハンドボールの国内トップレベルの試合が可能な屋内スポーツ施設をはじめ、スポーツ大会や合宿が可能な施設が市内全域に多数あります。

しかし、全体的には経年劣化により老朽化が進んでいることや、スポーツ大会や合宿等の誘致事業による交流人口の増加を図るため、多様化するスポーツニーズに対応する施設整備を望む声が市スポーツ協会等から上げられており、令和3年度から本市の拠点となるスポーツ施設の整備工事に着手しています。

表3 ◆天草市営の主なスポーツ施設【屋内】（※は本市のスポーツ拠点施設）

施設名称	施設概要
天草市民センター体育館※	ハンドボール1面、バスケットボール2面、バレーボール3面 バドミントン9面、卓球台16台、その他観覧席1,000席
天草市民センター総合武道館※	1F 柔道場2面、2F 剣道場2面、3F 弓道場7人立
牛深総合体育館	○大アリーナ：ハンドボール1面、バスケットボール2面、バレーボール3面 ○小アリーナ：卓球台5台 ○武道場：柔道場1面、剣道場1面 ○その他：トレーニング室
有明体育館	バレーボール2面、バドミントン6面
倉岳体育館	バレーボール2面、バドミントン4面
倉岳武道場	剣道2面
栖本体育館	バレーボール2面、バドミントン3面
新和体育館	バレーボール2面、バドミントン3面
新和B&G海洋センター	○体育館：バレーボール2面 ○武道場：剣道1面、柔道1面
五和体育館	ハンドボール1面、バレーボール2面、バドミントン6面
天草勤労者体育館	バレーボール2面、バドミントン3面
河浦中央体育館	バレーボール2面、バドミントン6面
河浦柔剣道場	剣道1面、柔道1面
河浦弓道場	近的6人立

表 4 ◆天草市営の主なスポーツ施設【屋外】（※は本市スポーツ拠点施設）

施設名称	施設概要
本渡運動公園※	○陸上競技場 全天候型300mトラック（夜間照明）※令和5年解体予定 ○野球場（ソフトボール場）1面 両翼90m、センター100m（夜間照明） ○テニスコート4面（砂入り人工芝コート）夜間照明
広瀬公園※	○野球場1面 両翼91m、センター115m（夜間照明） ○テニスコート5面（砂入り人工芝コート）（夜間照明）
錦島運動広場※	ソフトボール2面、サッカー1面（夜間照明）
下浦アーチェリー場	アーチェリー場 8人立
牛深グラウンド	野球1面、ソフトボール2面（夜間照明）
うしぶか公園	テニスコート2面（砂入り人工芝コート）（夜間照明）
有明グラウンド	野球1面（夜間照明）
倉岳総合グラウンド	野球1面、ソフトボール1面（夜間照明）
栖本総合グラウンド	○野球1面、ソフトボール2面、サッカー1面（夜間照明） ○テニスコート1面（砂入り人工芝コート）（夜間照明）
新和グラウンド	ソフトボール2面（夜間照明）
五和グラウンド	○野球1面、ソフトボール2面（夜間照明） ○テニスコート3面（クレーコート）
天草総合運動公園	○野球1面、ソフトボール1面（夜間照明） ○テニスコート2面（クレーコート）（夜間照明）
河浦総合運動場	○野球1面、ソフトボール2面（夜間照明） ○テニスコート2面（クレーコート）（夜間照明）

表 5 ◆天草市スポーツ拠点施設整備基本計画で整備予定の施設

施設名称	施設概要
400m陸上競技場 （大矢崎緑地公園）	○陸上競技場 全天候型400mトラック（夜間照明） トラック内：天然芝 サッカーコート（一般）1面
多目的広場：人工芝 （本渡運動公園）	○多目的広場：人工芝（夜間照明：既存） サッカーコート（一般）1面

2-4 スポーツイベントの状況

本市では、天草マラソン大会や天草宝島国際トライアスロン大会、倉岳えびすマラソン大会など様々なスポーツ大会が、市または競技団体、各実行委員会等の主催により市内各地で開催されています。

それぞれの大会においては、競技力向上や市民との交流を図るために、目的やレベルに応じて、市外からトップアスリートを含めた選手やチーム、愛好家等を招くとともに、市民との交流を深めながら地域振興につなげています。

【市外からの参加を伴う主なスポーツイベント】（主催者）

- ・天草マラソン大会（市、大会実行委員会）
- ・倉岳えびすマラソン大会（大会実行委員会）
- ・烏峠パノラマウォーク（大会実行委員会）
- ・天草宝島国際トライアスロン大会（熊本県トライアスロン連合、天草トライアスロン協会）
- ・Xアスロン大会（大会実行委員会）
- ・島あじマラソン（大会実行委員会）
- ・郡市対抗熊日駅伝（熊本日日新聞社）
- ・天草下島一周サイクルマラソン（熊本県サイクリング協会）

2-5 スポーツ関連団体の概要と競技スポーツの現状

本市では、各スポーツの競技団体を会員とする市スポーツ協会を中心に、競技スポーツの振興が図られています。

市スポーツ協会では、会員である各種目協会と連携して、熊本県民体育祭や郡市対抗駅伝（男・女）の市選手団の強化及び派遣等を行っています。

本市選手団の近年の成績に目を向けると、熊本県民体育祭は平成 25、26 年度に 3 位の好成績を記録して、それ以降は年々低迷し令和元年度は 8 位。

郡市対抗駅伝（男子）は平成 22 年度～25 年度までの 4 連覇があったものの、その後は低迷し令和元年度は 11 位。

郡市対抗女子駅伝は、一時期低迷する時期があったものの、育成年代からの強化が実り、近年の成績は上昇の兆しが見られ、令和 2 年度は 4 位の好記録を残しています。

今後、本市の競技力向上を図るためには、市スポーツ協会及び各種目協会が中心となり、時間をかけて地道に育成年代からのスポーツの普及、強化に取り組むことと併せて、指導者の育成が重要と考えられます。

表 6 ◆ (一社) 天草市スポーツ協会加盟団体 (種目協会) ※令和3年7月現在

団体名	会員数	団体名	会員数
天草市陸上競技協会	56	天草市水泳協会	50
天草市軟式野球連盟	281	天草市ソフトボール協会	466
天草市ソフトテニス協会	71	天草市卓球協会	51
天草市バドミントン協会	86	天草市バレーボール協会	109
天草市バスケットボール協会	63	天草市ハンドボール協会	66
天草市サッカー協会	50	天草市柔道協会	45
天草市剣道連盟	127	天草市弓道協会	22
天草市相撲連盟	28	天草市銃剣道協会	7
天草市空手道連盟	37	天草市アーチェリー協会	12
天草市テニス協会	45	天草市ゲートボール協会	119
天草市ボウリング協会	40	天草市グラウンド・ゴルフ協会	415
天草市トライアスロン協会	19	天草市ラグビーフットボール協会	11
天草市エアロビック連盟	43	<u>会員数計 2, 409人</u>	

表 7 ◆その他 スポーツ関連団体

天草市スポーツ推進委員協議会 ※天草市スポーツ協会に加盟	天草スタンドアップパドルボード協会 ※天草市スポーツ協会に加盟予定	ブロー・フィットネスあまくさ 注1) ※天草市スポーツ協会に加盟予定
---------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------

※注1: 「スポーツ吹き矢」活動団体

表 8 ◆本市における年度ごとの競技スポーツの成績

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
県民体育祭総合成績	6位	8位	中止
郡市対抗女子駅伝	10位	3位	4位
郡市対抗駅伝	9位	11位	11位
全国大会への出場奨励金 支給状況 (市支出分)	2団体: 67人	9団体: 78人	3団体: 14人

2-6 本市におけるスポーツ大会・合宿誘致事業の状況

本市では、自然環境等の特性（地形、気候、風土等）や指導者間の交流などを通じて人のつながりを活かして、これまで多くのスポーツ大会や合宿の受け入れが行われてきました。

なかでも実業団による長距離陸上競技では4つの団体が継続的に来訪されているほか、高校生のサッカー、ハンドボール等では長期休暇期間を利用して、一度に1,000人規模の合宿が行われています。

長距離陸上競技の実業団の関係者からは、本市を選ばれる理由について、「コースに適度な起伏がありトレーニングに適している」「複数のロードコースが確保できる」「車の交通量が少なく走りやすい」「ロードを走行中でも通行車両から煽られることがない」などの声が聞かれています。

また、多くのスポーツ大会や合宿においては、各種目協会が中心となり、指導者等のつながりを活かして誘致がなされ、企画、運営、宿泊などの手配までを行っているほか、市が直接的に誘致をする大会があるなど、その対応は様々な状況にあります。

令和2年度からは新型コロナの影響を受けて、大会合宿の誘致者数は伸びていないものの、コロナ禍以前の平成30年度には延べ8,982人を受け入れています。

表9 ◆近年のスポーツ大会合宿の誘致実績 ※「大会誘致等推進事業」補助金実績より

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
スポーツ大会・合宿 誘致団体・宿泊者数	40団体 8,982人	42団体 7,499人	26団体 1,886人
延べ宿泊人数の多い 上位3大会	・天草サッカーフェスティ パル 1,207人 ・日本少年野球熊本大会 993人 ・谷脇杯高校生ハンドボ ール選手権大会 921人	・日本少年野球熊本大会 779人 ・九州中学校駅伝競走大会 706人 ・熊本県中学校駅伝競走大 会 704人	・九州高等学校ハンドボ ール選抜大会県予選ほか 290人 ・強化合宿 156人 ・三菱重エマラソン部強化 合宿 119人
競技別の申請件数	・陸上競技 10件 ・バレーボール 5件 ・ソフトボール 4件 ・サッカー 4件 ・ハンドボール 3件 ・ソフトテニス 3件 ・バスケットボール 3件 ・剣道 2件 ・軟式野球 2件 ・硬式野球 2件 ・ボクシング 1件 ・テニス 1件	・陸上競技 14件 ・サッカー 7件 ・ソフトボール 4件 ・バスケットボール 4件 ・バレーボール 4件 ・軟式野球 3件 ・ソフトテニス 2件 ・剣道 1件 ・ハンドボール 1件 ・硬式野球 1件 ・テニス 1件	・陸上競技 9件 ・ソフトボール 7件 ・サッカー 3件 ・剣道 2件 ・軟式野球 2件 ・ハンドボール 2件 ・ボクシング 1件 ・バレーボール 1件

第3章 スポーツコミッションの取り組みを推進する上での課題

1. 本市のスポーツ分野に関する分析

「天草市スポーツ推進計画（第2次）」の取り組みを推進する上で、スポーツコミッションが担う分野に関する現状について整理します。

市内の関係者に行ったアンケートやヒアリング（別冊資料）からの意見をもとに、スポーツ分野の動向や関連団体などからの意見のほか、近年の各分野の情勢などを加え、本市の「強み」と「弱み」、「有利な外的環境」と「不利な外的環境」を整理しています。

<p style="text-align: center;">☆天草市の強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然景観（美しい山と海）と気候、風土が良い ・スポーツツーリズムに適している ・世界文化遺産、キリシタン文化や歴史に知名度がある ・美味しい食事、観光、温泉が魅力 ・スポーツ実施率が年々上昇。スポーツや健康面への関心度が高い ・スポーツボランティアに関わりたい人が多い ・市内全域にスポーツ施設が多数点在 ・屋内施設は、バレーボール、ハンドボールなどの国内トップレベルの誘致が可能 ・400m競技場、多目的広場（人工芝）等が令和6年度までに整備予定 ・各団体が活発にスポーツ大会、合宿を誘致、開催 ・ロード競技（長距離陸上等）の環境（地形、気候、風土等）がよい ・長距離陸上競技の実業団（複数）が本市で合宿 ・「大会等誘致事業補助制度」がある（参加者から魅力） ・ソフトボールは市内に強豪チームが多数ある ・トライアスロンはバイクコースが魅力 ・スポーツコミッションの設立を望む競技団体が多い ・スポーツ大会や合宿誘致に関心がある競技団体が多い ・障がい者スポーツに関心がある競技団体が多い 	<p style="text-align: center;">★天草市の弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民体育祭、郡市対抗駅伝の成績（競技力）が低迷 ・子どもの体力、運動能力が県内の平均値と比較すると低い状況 ・子どものスポーツクラブの種類やクラブ数において、市街地と郊外では格差がある ※市街地は充実している ・障がい者のスポーツ環境が整備されていない ・スポーツ施設が全体的に老朽化 ・人口減少、少子高齢化が進んでいる ・市外からの交通アクセスが悪い（遠い、渋滞） ・宿泊施設におけるアスリート向け対応等について実績の不足 ・障がい者が宿泊できるホテル、旅館等が少ない ・市内の宿泊業者が年々減少 ・情報発信がうまくいっていない ・市内全域にネット環境が整備されていない ・市内の各競技の指導者、審判員の数少なく、高齢化も進んでいる
<p style="text-align: center;">◇天草市に有利な外的環境（機会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックによる機運が上昇 ・スポーツ庁がスポーツツーリズムを推進 ・熊本県が令和3年度にスポーツコミッションを設立して、市町村と協力体制を構築 ・「天草地域サイクルツーリズム」によるサイクリング環境が整備 ・体験型のスポーツや観光が注目されてきている ・令和4年度に第2瀬戸大橋が完成。交通渋滞緩和 	<p style="text-align: center;">◆天草市に不利な外的環境（脅威）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的にスポーツコミッション組織が増加、競争激化 ・近隣市町村でも本市スポーツ施設と同様のスポーツ施設が整備されている

2. スポーツコミッションの取り組みを推進するにあたっての課題

★天草市の強み

本市は、豊かで美しい自然景観と温暖な気候に恵まれ、美味しい食事（海の幸、山の幸）や魅力ある観光地、温泉施設を有しています。

また、市内にはスポーツ施設（体育館、グラウンド等）が全域に点在しており、バレーボールやハンドボールにおいては、国内トップリーグの試合が行える屋内スポーツ施設（市民センター体育館）を保有しています。

さらには、令和5年度に400m陸上競技場が、令和6年度に多目的広場（人工芝：サッカー1面）が供用開始される予定で整備が進められています。このように、恵まれた風土やスポーツ施設を活用して、これまで市内の各種目協会を中心にスポーツ大会が誘致、開催されてきたほか、長距離陸上競技の実業団による合宿等も盛んに行われてきました。このような実績を裏付けるものとして、市内の各スポーツ団体においては、「今後、スポーツ大会や合宿誘致を行いたい」、「障がい者スポーツに関心がある」、「スポーツコミッションの設立を望む」等、活動に対して前向きな声が複数の団体から挙げられています。

その他、市民のスポーツや健康面に対する関心度の高まりから、年々スポーツ実施率が上昇しており、さらにはスポーツボランティアに関わりたい人が多いというデータもあります。

今後は、これらの豊かな自然や有用な施設、スポーツ団体が持つ様々な大会や合宿等で培われた経験と前向きな意識、さらには市民のスポーツに対する高い意識を活かして、市内（市民やスポーツ団体等）からスポーツに対する機運をさらに高めて、スポーツが持つプラスのイメージを発信していくことが必要です。

★天草市の弱み

地理的な面では、熊本方面から車で2時間程かかり、土日には渋滞が発生するため不便であることが挙げられています。

宿泊施設の面では、これまで一部のホテル等においてアスリートの受け入れを行ってきましたが、未だ多くのホテル等では受入れの実績が少なく経験に乏しい状況にあります。また、障がい者を受け入れるための車いすが利用可能なホテルも少ない状況にあるほか、年々、市内の宿泊事業者が減少するなどの課題が挙げられています。

スポーツ分野では、近年、県民体育祭や郡市対抗駅伝の成績が低迷しており競技力向上に向けた取り組みが課題であること。また、子ども達の体力・運動能力のテスト結果が、県内平均値と比較すると全体的に低い状況にあることが挙げられます。

子どもスポーツの環境面においては、市内に90団体ほどの社会体育クラブが活動していますが、人口が多い本渡地域では多種目で複数のクラブがあるものの、郊外では種目数が限られ、子どもがやりたいスポーツを選択できない環境にあります。

競技力向上や子どもの体力向上の面については、スポーツ振興の根幹をなす部分であり、市内の関係団体と連携して、本格的な取り組みにより早急に改善することが求められる課題と言えます。

◇天草市に有利な外的環境（機会）

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催により、全国的にスポーツに対する注目度や関心が高まりを見せる中、スポーツ庁がスポーツツーリズムを推進し、さらに令和 3 年度には熊本県がスポーツコミッションを起ち上げ、市町村と協力体制を構築して事業を推進していくことは、スポーツコミッションを発足する本市にとって大きな追い風となります。

また、天草地域サイクルツーリズム協議会においては、熊本県が中心となり本市を含む天草の 2 市 1 町で連携したサイクリングの環境整備が進められるなど、広域連携によるスポーツの取り組みが動き始めています。

さらに、令和 4 年度には天草上島と下島を結ぶ第 2 瀬戸大橋が完成予定であり、市内の交通渋滞が緩和される見込みです。

◆天草市に不利な外的環境（脅威）

全国ではスポーツコミッションが急速に設立され、現在 159 団体（令和 2 年 10 月時点：スポーツ庁調べ）が活動しています。各地のスポーツコミッションにおいては、スポーツ大会や合宿誘致を軸に特色のある取り組みを加えて、誘客の増加を図っています。本市においても地域資源を活用して他地域との差別化を図っていくことが必要です。

また、近隣の市町村においても類似したスポーツ施設の整備がなされており、今回整備する施設の機能面に付加価値を付けて誘客を図っていく必要があります。

第4章. スポーツコミッション活動戦略

1. スポーツコミッション活動戦略の基本的な考えと活動方針

基本的な考え

全ての市民がそれぞれのライフスタイルに応じて、生涯に渡ってスポーツや運動に親しむことで、スポーツへの関心や関りを持ち、健康増進や競技力の向上が図れる環境づくりを行います。

また、天草市スポーツ拠点施設を中心に、陸上競技やサッカー、障がい者スポーツやサイクリング等、様々なスポーツの大会・合宿の誘致を推進し、新たな交流機会の創出によるスポーツを通じた地域活性化を図ります。

【スポーツコミッションの活動方針】

(1) スポーツや運動の推進による健康づくり・体力増進・競技力の向上

近年、市民のスポーツ実施率が年々上昇し、市民のスポーツや運動に対する意識が高まっています。そこでスポーツ拠点施設を核として、市民が集いスポーツや運動に関心を抱き、個々の健康づくりや体力増進につなげるためのサポートを行います。

また、市内の子ども達がスポーツや運動に親しむための取り組みを、学校などと連携して行います。

(2) スポーツによる学びを通じたスポーツ文化の醸成と人間力の向上

本市では、これまで多くのスポーツ大会や合宿を受け入れてきました。令和5年度に400m陸上競技場が供用開始されるのを契機に、さらに市外から多くのスポーツ関連による誘客（競技関係者等）が見込まれます。

そこで、市民がスポーツに対して「する」「観る」「支える」のいずれかで関わりを持ち、スポーツ（運動）からの学びを通して、一人ひとりの心と身体の調和、さらにはスポーツ文化の醸成を図り、併せて関わる全ての人の人間力向上につなげます。

(3) スポーツを通じた交流人口の増加による地域活性化

豊かな自然に恵まれ一年を通じた温暖な気候を活かして、市外からのスポーツ大会・合宿の誘致を積極的に取り組みます。

さらには令和5年度に供用開始予定の400m陸上競技場には、合宿等の誘致にも有利に働く「傾斜走路」や「1周1kmの周回走路」を附帯する計画です。

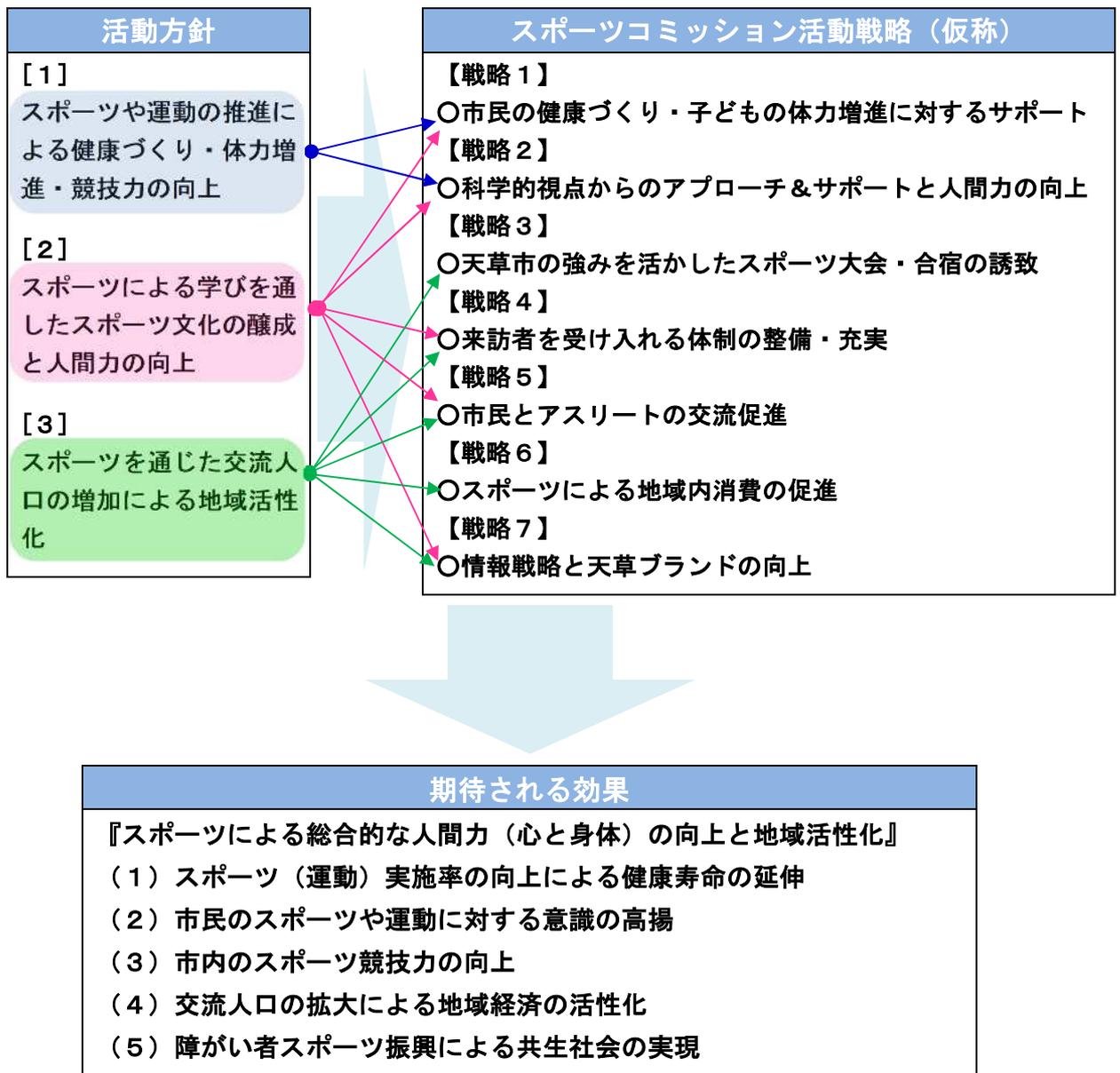
そこで、まずは「自然・地形」「スポーツ施設」の強みを活かし、さらにスポーツ分野の「人脈」を織り交ぜて、各種スポーツ大会・合宿の誘致活動を行います。

2. スポーツコミッションの活動戦略

本市が目指すスポーツ振興の実現に向けて、天草市スポーツコミッションの「基本的な考え」と「活動方針」を踏まえ、天草市スポーツコミッションの活動を効果的に推進するために、以下の「戦略」と「成果指標」を設定します。

活動戦略の内容については、次頁以降に「戦略の概要」「戦略の方向性」「具体的な取り組み」として示します。

《スポーツコミッション活動戦略の体系》



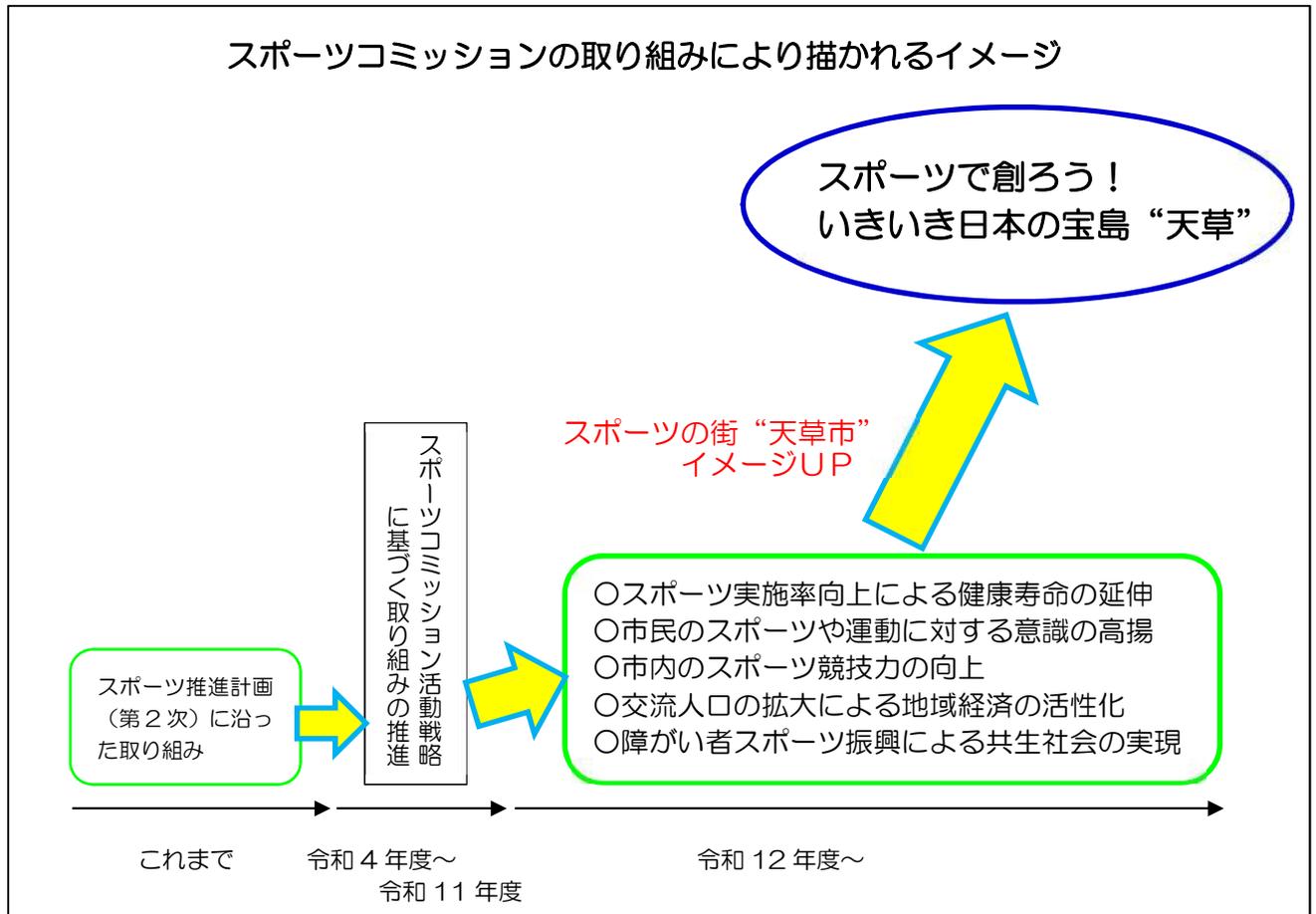
《スポーツコミッションの数値目標》

項目	単位	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和11年度)
スポーツ実施率(成人)	%	59.5	65.0
市健康ポイント事業への参加者数	人	3,816	※1)
小学生(5年生)における新体カテスト数値(男・女)で県平均を上回る項目数	項目	※2) 3	8
スポーツ大会・合宿誘致者数(申請者数)	人	1,886	16,500
スポーツボランティアへの市民参加の割合	%	9.2	25.0

※1) 第3次天草市総合計画策定時(令和4年度)に設定
 ※2) は令和元年度の数値

《地方創生拠点整備交付金における指標》

項目	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
スポーツコミッションセンターの利用者数(陸上競技含む)	人	51,000	52,500	53,000
陸上競技場において新たに増える大会・合宿誘致件数	件	24	28	33



戦略1 市民の健康づくり・子どもの体力増進に対するサポート

〔戦略の概要〕

健康な身体は、豊かな生活を営むために最も必要な基盤の一つです。

健康づくりは、市民一人ひとりが自ら健康な生活習慣を実現するための主体的な取り組みにより実現できるものです。

本市では、市民の健康づくりを促進するための一つとして、運動習慣の定着を掲げ生活習慣病等の予防を促しています。

近年、本市のスポーツ実施率は年々高まり、市民アンケートによると、今後、行ってみたい運動等としては、ウォーキングや散歩が一番多い意見としてあげられています。

令和5年度に供用開始予定の400m陸上競技場の周囲には周回1kmのジョギング・ウォーキングコースが整備され、市民の期待に十分に込えられるものと思われます。そこで、このような環境が整備される機会に併せて、市民の健康増進を図るための新たな取り組みを400m陸上競技場を拠点として行います。

また、運動習慣の定着には子どもの頃からスポーツや運動に触れ親しむことが大切です。本市の児童期における体力・運動能力は県内の平均値と比較すると低い状況にあり、市民の健康づくりと併せて、子どもの体力増進の取り組みをスポーツコミッションが主体的に行っていきます。

〔戦略の方向性〕

○市健康増進課と連携し、「天草市健康増進計画」に基づく各種事業とタイアップした新たな事業展開を図る。

○400m陸上競技場を拠点とする科学的な分析に基づくサポート（※注釈2に記載）により、市民の健康づくりと子どもの体力増進に向けた取り組みを行う。

〔具体的な取り組み〕

- (1) ジョギング・ウォーキング（歩行能力）をベースにした体力向上プログラムの実施。
- (2) 市民の健康づくり「(仮称)市民のヘルスマイト（※注釈1）」の導入・活用による健康づくりの推進。
- (3) 市健康増進課が推進する「健康ポイント事業」等の各種事業との連携による市民の健康増進。
- (4) 市内の学校と連携した「子どもの体力増進プログラム」の実施。

※注釈1:「(仮称)市民のヘルスマイト」とは市民が運動を通して健康増進につなげるために、関係するデータを記録する一人ひとりのカルテ

戦略2 科学的視点からのアプローチ&サポートと人間力の向上

〔戦略の概要〕

令和5年度に供用開始される400m陸上競技場は、健康づくり等を目的とする市民や市内外の競技者の利用が見込まれます。

そこで、本競技場に各個人の運動動作（フォーム）等を測定する計測機器類を導入し、その計測したデータを研究機関（大学・医療機関・民間企業）等と連携のもと分析して、科学的知見に基づいて健康の質や競技力を高めるための提案を各個人に対して行います。

また、一般市民や競技者の各年代ごと、目的等に合わせたスポーツ栄養食等を提供して、利用者の目的に応じてサポートできる体制を構築します。

この他、JOCが提唱する「人間力なくして、競技力向上なし」のスローガンにあるように、競技力を向上するには人間力の向上が必要とされています。人間力を向上させる方法としては、アスリートが異なる競技者と関わりを持つことや、夢や目標を持つ大切さを一般市民や子どもたちに伝えていく等の関わりの中で養われると考えられています。そこで、本市を訪れるアスリートと市民が交流イベント等の中から様々なことを学び、人間力の向上や競技力の向上へと繋げていきます。

〔戦略の方向性〕

○400m陸上競技場を拠点として、「市民に向けた健康づくり」、「子どもに向けた体力増進」、「競技者に向けた競技力向上」の視点からそれぞれの目的に沿って各種動作等の計測と科学的な分析を行う。また、その分析結果等に基づき適切な処方をして、市民の健康づくり及び競技力向上につなげる。

○科学的なサポート体制の具体的な内容（※注釈1）については、スポーツ科学分野の専門家等から意見を徴し、令和5年度の400m陸上競技場の供用開始時から段階的に整備・充実させる。

※注釈1：別途、計画を策定予定。

○スポーツを通じて「自分と向き合う力・自分を高める力・他者とつながる力」と言った非認知能力（※注釈2）や人間力（※注釈3）を向上させることにより、豊かな人生の在り方に結びつける。

※注釈2：「非認知能力」とは、学力やIQといった数値で測れない「意欲・協調性・忍耐力・社会性」といった個人の特性による能力。

※注釈3：「人間力」とは、社会を構成し運営するとともに、自律した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力。

○アスリートと市民がスポーツによる交流を図ることで、市民のスポーツに対する意識（関心度）の向上と互いの人間力向上につなげる。※戦略5にも掲載

〔具体的な取り組み〕

- (1) スポーツ科学分野の研究機関（大学・医療機関・民間企業）等との連携体制の構築と具体的なデータ解析によるサポートの実践。
- (2) 市民の健康づくりや競技力向上を図るために必要となる計測機器の導入（※注釈4）とスポーツトレーナー等の人材確保。※注釈4：市が購入。
- (3) 市内スポーツ団体との連携による育成年代の運動能力の開発と競技力向上。
- (4) スポーツ栄養食に関する民間企業との連携体制の構築とサービスの提供。
- (5) アスリートと市民の交流イベントを通じた、学びの機会の創出。

戦略3 天草市の強みを活かしたスポーツ大会・合宿の誘致

〔戦略の概要〕

本市では、これまで“多種目”“多世代”でジャンルを問わず幅広くスポーツ大会や合宿が行われてきました。

なかでも実業団による長距離陸上競技では4つの団体が継続的に来訪されているほか、高校生のサッカー、ハンドボール等では長期休暇期間を利用して、一度に1,000人規模の合宿が行われています。また、毎年、本市を主会場に少年野球大会やバスケットボール大会等も開催されており、多くのスポーツ大会が種目を問わずに開催されています。

このような中、令和5年度には400m陸上競技場（傾斜走路、1周1km周回走路）、令和6年度には多目的広場（人工芝：サッカーコート1面）が供用開始予定で、本市への大会・合宿誘致における強みは増すものと見込まれます。

しかしながら、このような施設等の整備は大きな強みとしながらも、全国的にスポーツ大会や合宿の誘致が積極的に取り組まれているため、今までと同じ手法で本市に誘客を図る事は容易なことではなく、今後は、本市の持つ様々な「強み」を積極的に情報発信を行い大会・合宿の誘致に取り組みます。

〔戦略の方向性〕

○現在、大会や合宿で本市を訪れているスポーツ団体に対して、引き続き来訪してもらうために、団体の代表者とコンタクトを図り、各団体との信頼関係を深めて継続的な誘致につなげる。

○本市が持つ強み（スポーツ施設、道路環境、サポート体制）を前面に、関東、関西、九州圏の実業団、大学、各種団体等に対して積極的な誘致を行なう。

〔具体的な取り組み〕

- (1) 400m陸上競技場や市街地の道路環境等の強みを活かして「陸上競技」、「サイクリング」のほか、東京2020パラリンピックで機運が高まっている「障がい者スポーツ」等を積極的に誘致する。また、科学的知見に基づいた競技力向上のサポート体制を強みに、様々なスポーツの誘致活動を行なう。
- (2) 現在、スポーツ大会・合宿で本市を訪れている団体に対して、継続して本市に来訪してもらうための誘致活動。
- (3) 長距離走の合宿で本市を訪れる実業団の関係者や、スポーツ分野にネットワークのある団体との連携によるつながり（人脈）を活かした誘致活動。
- (4) 市スポーツ協会及び種目競技団体、さらには市内の学校部活動の指導者等と連携した大会・合宿等の誘致と大会開催の支援。
- (5) 近隣自治体との連携による「オールあまくさ」の強みを活かした誘致活動（サッカー、サイクリング）と熊本県スポーツコミッションとの連携（アウトドアスポーツ）。

戦略4 来訪者を受け入れる体制の整備・充実

〔戦略の概要〕

これまで数々のスポーツ大会や合宿で多くのスポーツ関係者が本市を訪れて来ましたが、問い合わせをする窓口が一本化されていないのが現状です。

スポーツの大会や合宿を行う上では、スポーツ施設の予約から宿泊所の調整、弁当の手配のほか、長期にわたる合宿においては選手の衣類の洗濯などを含め、遠方から天草を訪れる人にとっては、スポーツ以外の面に労力が注がれています。

そこで、スポーツコミッションを中心に市内の関係団体と連携して、市外からの各種問い合わせにワンストップで対応できる体制を整備し、選手や大会・合宿の主催者などにストレスを感じさせることなく、快適にスポーツに専念してもらう環境を整えることで、多くのスポーツ大会・合宿の誘致につなげます。

さらに、障がい者スポーツ大会の誘致・開催に向けては、競技運営面や宿泊施設などで課題が多く、総合的に受け入れる体制・仕組みづくりが求められます。

今後、このようなスポーツ大会・合宿を受け入れることで磨き上げられる、経験・ノウハウの蓄積、スキルアップを図り、本市がスポーツ大会・合宿地としてスポーツ関係者に認知されるための取り組みを行います。

〔戦略の方向性〕

- スポーツ大会や合宿を行う各団体が、ストレスを感じることなくスポーツに集中して快適に取り組める環境を整備する。また、障がい者スポーツ大会の参加者の受け入れ環境についても、関係団体と連携しソフト・ハード両面で整備する。
- 宿泊業を始めとする関係分野の人材を中心に、スポーツ大会や合宿等を受け入れるためのノウハウ等について研修を行い、スキルアップを図り人材の育成を推進する。

〔具体的な取り組み〕

- (1) スポーツコミッションを窓口とした総合的なワンストップ窓口の設置(宿泊、飲食、観光、スポーツ施設の紹介等)と関係事業者とのネットワーク構築。
- (2) スポーツ大会や合宿等で必要な各種物品等のレンタルサービスの実施(テント、チェア、クーラーボックス、パソコン、プロジェクター等)。
- (3) スポーツ合宿等で宿泊事業者などに求められるサービスのための研修の実施(アスリート食への対応等)。
- (4) スポーツボランティア組織の設立によるボランティアスタッフの派遣と運営ノウハウの蓄積。
- (5) 障がいがある選手が、安心して本市を訪れることができるための、宿泊体制と競技運営体制の整備・充実。

戦略5 市民とアスリートの交流促進

〔戦略の概要〕

本市では、長距離陸上競技の4つの実業団が定期的に合宿を行っています。

しかし、これまでは市民がそのようなアスリートと直接交流する機会がありませんでした。

スポーツ振興の観点から、市民のスポーツに対する意識を向上させ、スポーツ文化を醸成するためには、トップアスリートのポジティブな態度に触れることを通して、高められていくものと考えられています。

また、トップアスリートにはこれまで培ってきた競技技術や経験などを社会に対して還元していくことも社会的に求められており、市民との交流を通してアスリートも学ぶことにより人間力の向上にもつながっていきます。

今後は、合宿等で本市を訪れるアスリートや本市と関わりのある企業等と連携したアスリートの誘致により、市民がスポーツ教室などを通してスポーツ交流を図りながら、スポーツに対する関心を高めると同時に、市内の子ども達をはじめとするアマチュアアスリートの競技力の向上につなげるため、関係団体と連携して取り組みます。

〔戦略の方向性〕

- 本市を訪れる実業団や市外の民間企業とのつながりにより、トップアスリートを招聘し市民との交流を図る。
- アスリートと市民がスポーツによる交流を図ることで、市民のスポーツに対する意識（関心度）の向上と互いの人間力向上につなげる。

〔具体的な取り組み〕

- (1) 本市を訪れる長距離陸上競技実業団等との交流イベント等の実施。
- (2) 市外の民間企業との連携によるトップアスリートの招聘。
- (3) 市スポーツ協会及び各種目協会と連携した交流イベント（アスリートによるスポーツ教室・指導者講習会等）の実施。

戦略6 スポーツによる地域内消費の促進

〔戦略の概要〕

本市では、市外からの参加者を伴うスポーツ大会が、多数開催されています。市外からの参加者にできるだけ長く滞在してもらい、観光や食などの多方面に渡る消費活動により地域内消費の拡大につながります。

そこで、スポーツ大会や合宿への参加者の他、応援者等に対して、本市の地域資源の魅力を伝えるための様々な仕掛けを行っていきます。

また、スポーツ拠点施設を中心に、市民に向けてスポーツへの関わりを推奨していくことや健康づくりに対する市民の関心度を上昇させることにより、スポーツ・健康づくりに関連する地域内消費の拡大にもつなげていきます。

〔施策の方向性〕

- 「崎津集落」や「イルカウォッチング」等の観光・文化資源への回遊や、「天草の美味しい食べ物」、「お土産品」等、オンリーワンの地域資源と絡ませ、消費の拡大につなげるため、関係事業者間における連携体制の強化を図る。
- スポーツ大会や合宿（応援者なども含む）により、本市を訪れる人の滞在時間を延ばすために、宿泊、飲食、観光を結び付ける取り組みにより、地域内消費の促進につなげる等、その効果を多方面に波及していけるような仕組みづくりを行う。
- スポーツの推奨や健康づくりへの関心度を高めることで、市内のスポーツや健康づくり産業における地域内消費の促進につなげる。

〔具体的な取り組み〕

- (1) 市内のスポーツ、観光、宿泊、飲食、交通事業者等の関係団体との連携した事業の推進。
- (2) スポーツ大会や合宿等の参加団体に対して、本市の地域資源情報（観光、食など）の事前の情報発信による地域内消費への誘導。
- (3) スポーツ大会開催時における農林水産物（食材）、お土産等の展示販売ブースの提供。地元事業者による販売会の実施。
- (4) 市内関係者との連携により、クーポン券などのお得感を感じるサービスの提供。
- (5) 民間スポーツクラブや市内インストラクター及びスポーツメーカー等との連携による、スポーツや運動のきっかけづくりにつながる事業の実施。

戦略7 情報発信と天草ブランドの向上

〔戦略の概要〕

本市には、これまで多くの団体がスポーツ大会や合宿に訪れていながらも、「天草市＝スポーツに適する環境」であることは、市内外にあまり定着していません。

本市が持つスポーツ大会や合宿地としての素晴らしさを市外の方に認識してもらうために、市内のスポーツに適する環境やこれまでの実績、それを取り巻く地域資源（人、食、自然、観光等）の魅力について、効果的に情報発信することが必要です。

また、市民に対するスポーツ振興の面でも、市内のスポーツ関連の情報発信が十分ではありませんでした。

今後は、スポーツ大会や合宿の情報をホームページやSNS等を活用して発信し、まずは市民に「天草市＝スポーツに適する環境」であることを理解してもらい、誇りに思ってもらえるような取り組みを推進していきます。

〔戦略の方向性〕

○本市が取り組むスポーツ大会や合宿の誘致について、天草の「強み」を明確にしたうえでターゲットを絞り込んで情報を発信する。

また、これまでの紙媒体による情報発信の形態のほか、Web等を活用した形態を加えて「天草ブランド」を向上させるための効果的な情報発信を展開する。

○スポーツ分野以外の観光、食などにつながる情報を発信する。

○本市で行われるスポーツ大会や合宿情報を市民に向けて発信する。

〔具体的な取り組み〕

- (1) WebやSNS等を活用した情報発信による「スポーツによるまちづくり」等のイメージ向上戦略の展開、「(仮称)情報投稿クラブ」の発足と活用。
- (2) 来訪者や若い世代からのSNSによる発信を活用したスポーツの「映える化」、若しくは「映える」スポーツの実施。
- (3) 市ホームページ等を活用した市内（市民・関係者）に対するスポーツ大会や合宿情報の提供。
- (4) 近隣自治体や熊本県スポーツコミッション、天草宝島観光協会等と連携した情報の発信。

スポーツコミッション活動戦略のロードマップ

準備の取り組み
実施の取り組み
継続的な取り組み

戦 略		実施行程			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
【戦略1】 市民の健康づくり・子どもの体力増進に対するサポート	市健康増進課との連携による「天草市健康増進計画」の各種事業とタイアップした事業展開	関係課との協議	「健康づくり」「競技力向上」に対する科学的な取り組みの計画策定と準備体制の確立	市民の「健康づくり」子どもの「体力増進」、競技者の「競技力向上」に向けた取り組みの実施	市民、競技者に向けた取り組みに改善等を加えながら実施
	科学的な分析に基づくサポート、市民の健康づくりと子どもの体力増進の取り組み	計測機器の導入			
【戦略2】 科学的視点からのアプローチ&サポートと人間力の向上	「市民：健康づくり」、「子ども：体力増進」「競技者：競技力向上」に対応する各種動作等の計測と科学的な分析及び適切な処方等の対応	科学的なサポート体制の具体的な内容の計画策定	大学・医療機関等との連携体制の構築		サポート体制の検証と必要に応じた体制等の見直し
	科学的なサポート体制の具体的な内容の計画策定				
【戦略3】 天草市の強みを活かしたスポーツ大会・合宿の誘致	既存の大会や合宿で本市を訪れている団体に対する誘致活動	誘致候補者の選定 近隣自治体と連携協議	積極的な誘致活動		誘致活動の継続とスポーツ大会・合宿の発展的な開催
	天草市の強みを活かした誘致活動		新たなスポーツ大会・合宿の開催 近隣自治体と連携した大会等の開催		
【戦略4】 来訪者を受け入れる体制の整備・充実	本市を訪れる団体や障がい者スポーツ大会の参加者へ快適にスポーツに取り組める受け入れ環境の整備	ワンストップ受け入れ体制の準備※段階的な実施 関係者との連携体制の確立	本格的なワンストップ受け入れ体制のスタート		受け入れ体制の継続と充実
	スポーツ大会や合宿等を受け入れる人材育成のための研修	ボランティア組織の設立・活動 市内関係者を対象にした研修会の実施			
【戦略5】 市民とアスリートの交流促進	本市を訪れる実業団、関連企業等と連携したトップアスリートの招聘	アスリート招聘者の選定	アスリートの招聘活動		招聘活動の継続
	トップアスリートと市民の交流による市民のスポーツに対する意識の向上に向けた取り組み	市内スポーツ団体と交流内容の検討	市民とアスリートの交流イベントの実施		
【戦略6】 スポーツによる地域内消費の促進	本市の観光資源への回遊や、“食”“お土産”等、オンリーワンの地域資源と絡ませた消費の拡大につなげる取り組み	市内関係者の意向把握と連携体制の確立	スポーツ大会・合宿者への観光情報などの紹介		他の市内イベントとの連携など波及的な取り組みの実施
	本市を訪れる人の長時間滞在や宿泊、飲食、観光を結び付ける取り組みによる地域内消費の促進に向けた仕組みづくり	スポーツ団体との連携体制の検討※誘致と並行した取り組み	スポーツ大会等との一体的な物産販売等の取り組みの実施		
【戦略7】 情報戦略と天草ブランドの向上	ターゲットを絞り込んだ情報の発信と、これまでの情報発信にWeb等を加えた「天草ブランド」の向上に向けた情報の発信	市内の情報発信に関する状況の把握 今後の情報発信体制の検討	市内関係団体と連携した情報の発信（HP、Web、SNS等）		情報発信の継続
	スポーツ分野以外（観光、食など）につながる情報の発信	「(仮称)情報投稿クラブ」設立準備	「(仮称)情報投稿クラブ」の設立活動		
	本市で行われるスポーツ大会や合宿情報の市内（市民・関係者）に向けた発信	市内向け情報の整理 関係団体との協議			

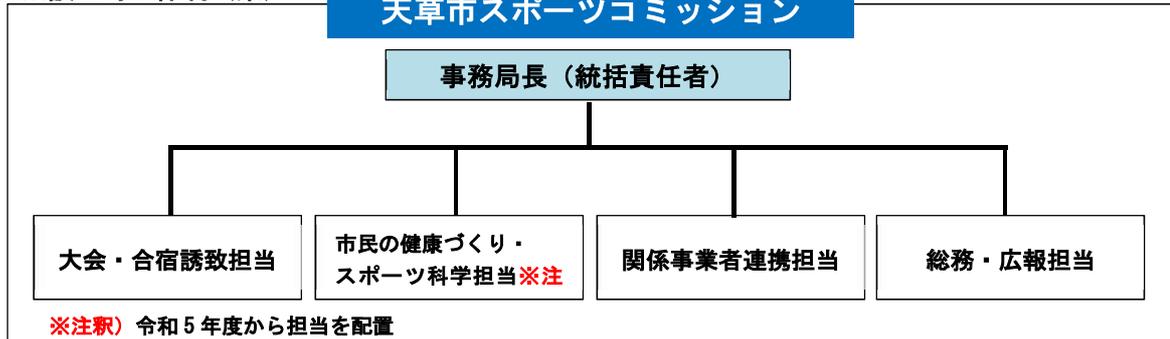
第5章. スポーツコミッションの具体的運営

1. スポーツコミッションの組織及び推進体制

本活動戦略の取り組みを実現するために、天草市スポーツコミッションの組織体制と業務推進体制のイメージを下図のとおり示します。

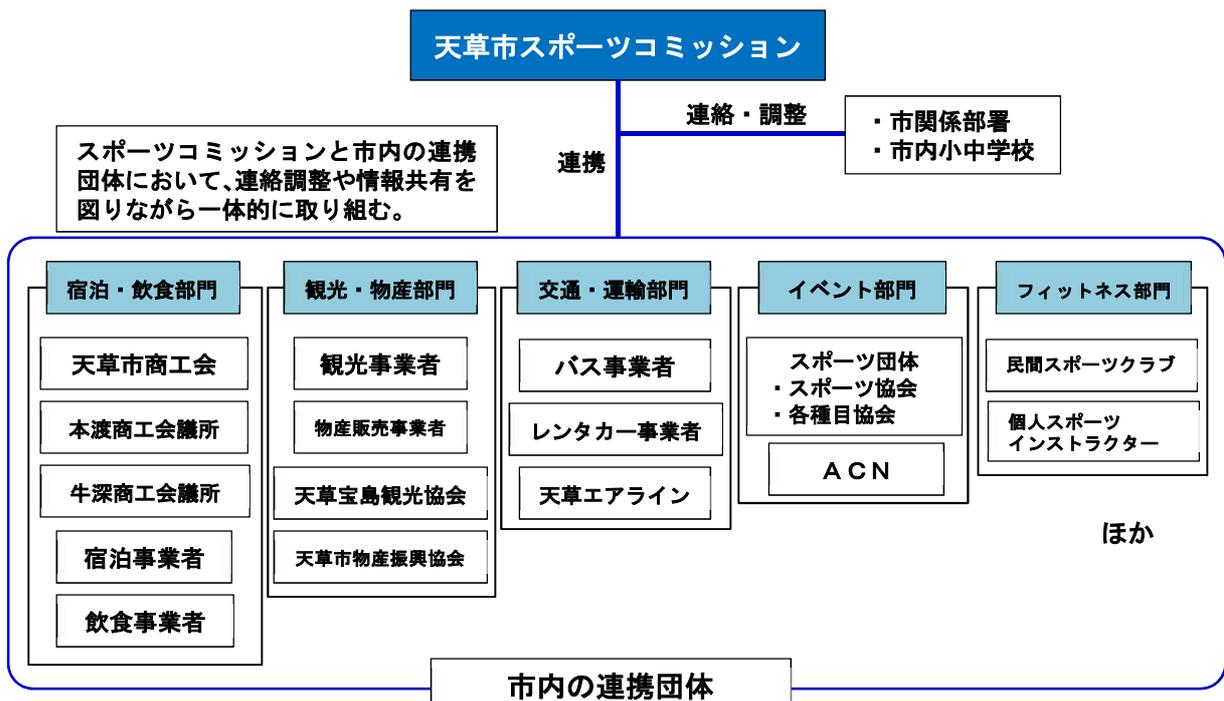
【スポーツコミッション組織体制図】

※設立時の体制（案）



- ・スポーツコミッションの設立時は、事務局を天草市スポーツ振興課内に置く。スポーツコミッションセンター開設後はセンター内に移転する。
- ・スポーツコミッション業務を補完するために、必要に応じてアドバイザー等を配置する。
- ・事務局にはスポーツ振興課職員（事務局長はスポーツ振興課長）及び天草宝島観光戦略マネージャーが従事する。将来的には民間主体の運営への移行を想定する。

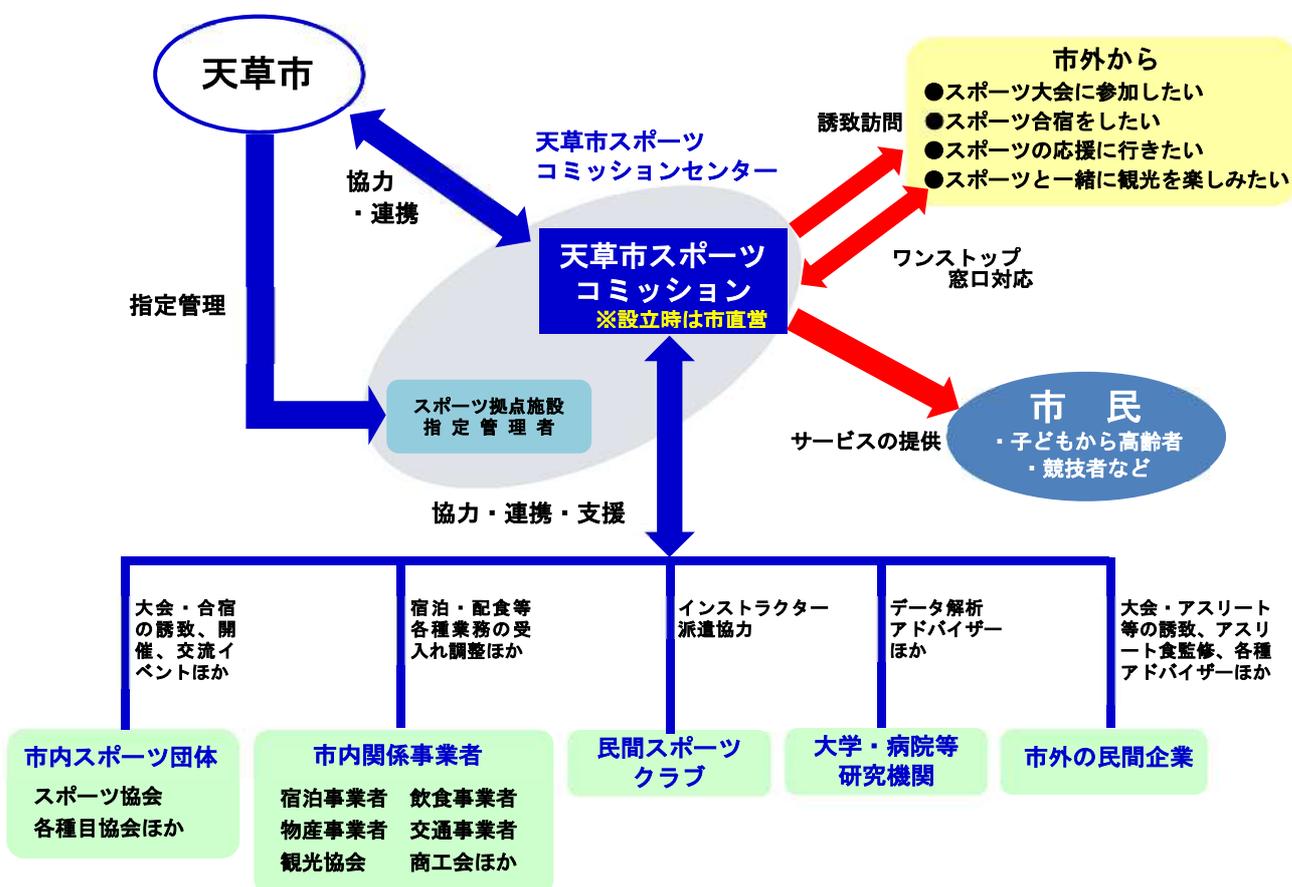
【スポーツコミッションと市内関係団体との業務連携体制イメージ】



2. スポーツコミッションの活動のイメージ

本市スポーツコミッションは、設立時には市の直営で運営するものの、近い将来は民間に移行することを想定しています。スポーツ拠点施設（400m陸上競技場、コミッションセンター）供用開始後は、同施設を拠点に各事業を展開していく計画であることから、民間に移行する際は同施設の指定管理者と一体的に、若しくはスポーツコミッションの業務と施設管理業務を併せて、指定管理者に移行することが望ましいと考えられます。

【スポーツコミッションの活動のイメージ図】

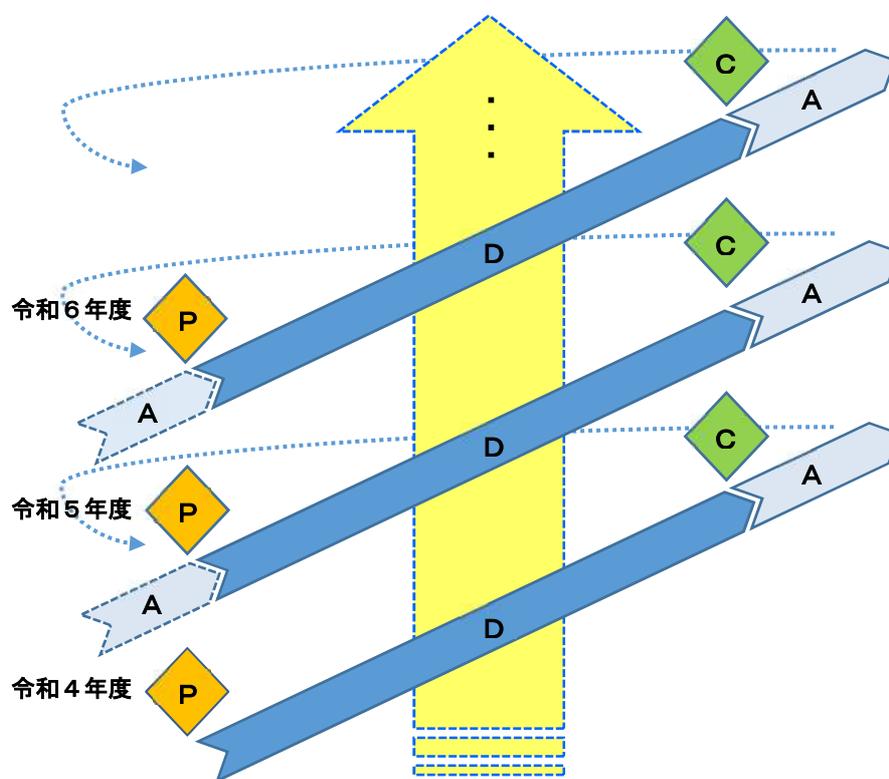


3. スポーツコミッション活動の評価と戦略の見直し

本活動戦略の期間である令和4年度から令和11年度まで、進捗状況が把握できるものについては、本市スポーツ推進審議会等において評価を行い、必要に応じて戦略内容を見直します。

具体的な評価方法については、市内の関係団体（宿泊・飲食事業者、スポーツ団体等）や来訪者からの意見（アンケート・ヒアリング）等をもとに、本活動戦略で定めた“スポーツコミッションの数値目標”と照らし合わせ、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて継続的に戦略を推進していきます。

〔計画・評価の見直しのイメージ〕



P：毎年4月に、前年度の改善を加えた具体的行動計画の立案・作成
D：行動計画の実行と、並行して来訪者へのリサーチの実施
C：年度末（2月頃）にスポーツ推進審議会での取り組みの振り返り
A：振り返りをもとに、次年度の改善計画（案）の作り込み